

#378

番号 03689

登録識別情報等通知書

自動車登録番号		登録年月日		初度登録年月		車台番号	
		令和	平成				
7年 5月 19日		17年 3月	KR130-0312				
名		型		式		原動機の型式	
カトウ		[051] SC-KR130				W04D	
所有者の氏名又は名称							
所有者の住所							
[40522 0017]							
自動車の種別		形状		乗車定員		最大積載量	
大型特殊		自家用		ホイール・クレーン		[072]	
総排気量又は定格出力		燃料の種別		型式指定番号		類別区分番号	
4.00 軽油				738cc		202cc	
有効期間の満了する日		令和		7年 3月 23日			
備考							
[福岡]、一時抹消登録 自動車重量税 非課税 [旧自動車登録番号] 北九州930寸 101 以下余白							

KPM134-5910312

裏面もご確認ください。



令和 7年 5月 19日

福岡運輸支局長

車両ID T9464QS7190990

- 本通知書は、再発行できませんので大切に保管して下さい。
(新規登録、輸出の届出等の際に必要になります。)
- 本通知書の自動車を譲渡するときは、本通知書を譲受人に譲渡して下さい。

日	付	記 事	欄	検 査 者 者 印
平成 17年 3月 18日		製造検査施行・クレーン等安全規則第59 条の規定に基づき検査証を交付する。		
17年 3月30日		クレーン等安全規則第61条第1項による 設置報告書受理。 半田労働基準監督署		
19年 3月16日		性能検査実施 (財) 日本クレーン協会愛知検査事務所 異常を認めない		
21年 3月17日		性能検査実施 (財) 日本クレーン協会愛知検査事務所 異常を認めない		
22年 5月20日		クレーン等安全規則第59条第3項に 基づく書審・再交付申請書受理		
年 月 日		(電 理 高 3 2)		
23年 3月11日		性能検査実施 (財) 日本クレーン協会福岡支店事務所 異常を認めない 合 格		
25年 3月7日		性能検査実施 (一社) 日本クレーン協会福岡検査事務所 異常を認めない		
27年 2月25日		性能検査実施 シマブンクレーン検査福岡支店事務所 異常を認めない		
29年 3月13日		性能検査実施 シマブンクレーン検査福岡支店事務所 異常を認めない		
31年 3月12日		性能検査実施 シマブンクレーン検査福岡支店事務所 異常を認めない		
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
令和 3年 3月6日		記入欄満了につき続紙を使用		

[illegible]

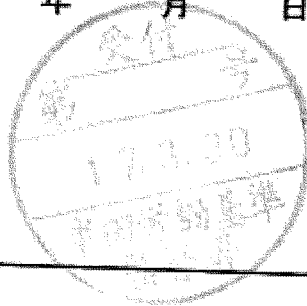
(移動式クレーン) 設置報告書

様式第9号

事業の種類			
事業の名称			
事業の所在地			
設置地			
種類及び型式	回上 ジブが伸縮するホイールクレーン KRM-13H		
吊上げ荷重	13.0t	設置予定年月日	平成 年 月 日
製造者名	株式会社 加藤製作所	製造年月日	平成 年 月 日

平成 年 月 日

報告者 氏名



労働基準監督署長殿

明細書

事項の種類		建設揚重業		事項の名称					
種類及び型式		ジブが昇降するホイールレール							
ジブ等の最大長さ	ジブ等の種類	最大長さ							
	起伏ジブ	24m							
	起伏補助ジブ	6.5m							
ジブ等の最大作業半径	ジブ等の種類	最大作業半径							
	起伏ジブ	22.5m							
	起伏補助ジブ	23.4m							
定 数	項 目	規 格							
	アウトリガの有無	有							
	走行装置	カイル							
	台 車	キトウ SC-KR130							
	種 類	長さ及び数							
原 動 機	種 類	定 額	用 途						
	ディーゼルエンジン	110kW							
つ り 具	種 類	容 量	質 量						
	フック	13t	0.09t						
	フック	1.8t	0.025t						
安全装置	種 類	方 式 等							
	過負荷防止装置	日夕検 第01025号							
	巻揚防止装置	電気検出-捲戻閉止							
ブレーキ	種 類	方 式							
	ウィンドブレーキ	歯式摩擦式							
	鼓風ブレーキ	歯式摩擦式							
備 考	アタッチメントの種類	起伏ジブ							
	項 目	最小	最大	最小	最大	最小	最大	最小	最大
	ジブの長さ	5.2m	24m	5.4m	24m				
	ジブの傾斜角度	0-80 deg	0-80 deg	35-80 deg	40-80 deg				
	最小作業半径	1.5m	3.2m	4.4m	4.8m				
	最小作業半径の定格使用重量	12t	3.2t	1.6t	1.2t				
	最大作業半径	6m	22.5m	22.7m	23.4m				
	最大作業半径の定格使用重量	6.1t	0.35t	0.19t	0.24t				
	つり上げ速度	0.009 m/s	0.14 m/s	0.009 m/s	0.009 m/s				
	ジブの起伏速度	0.0009 rad/s	0.0003 rad/s	0.0003 rad/s	0.0003 rad/s				
旋回速度	0.005 rad/s	0.005 rad/s	0.005 rad/s	0.005 rad/s					
走行速度	0.4 m/s	0.4 m/s							
起伏補助ジブの長さ			3.6m	5.1m					
起伏補助ジブの傾斜角度			6-80 deg	6-80 deg					
ワイヤロープ	用 途	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重	綱 索 直径・破断荷重
	巻上用(主巻)	径1及び径3 11.2mm, 42kN							
	巻上用(輔巻)	径2及び径3 11.2mm, 42kN							
	伸縮用(起伏ジブ3)	径4 14mm, 164kN							
	伸小用(起伏ジブ3)	径3 9mm, 57.6kN							
	伸長用(起伏ジブ5)	径4 19mm, 90.8kN							
	伸長用(起伏ジブ5)	径3 9mm, 52.8kN							
	伸小用(起伏ジブ5、6)	径4 19mm, 77.4kN							
	</								

【備考】 1 捺印を付してある欄は、記入しないこと。
2 検査時のワイヤロープには、その構成の前に○印を付すこと。
3 明細書が複数枚の場合は、備考欄にその旨を記入すること。
4 「備考」欄には、特殊な材料、特殊な用途等備考となる事項を記入すること。

副校長 高橋 勇人